

闘虎

No. 12
Wrestling
群馬県レスリング協会広報紙
平成19年 秋季号

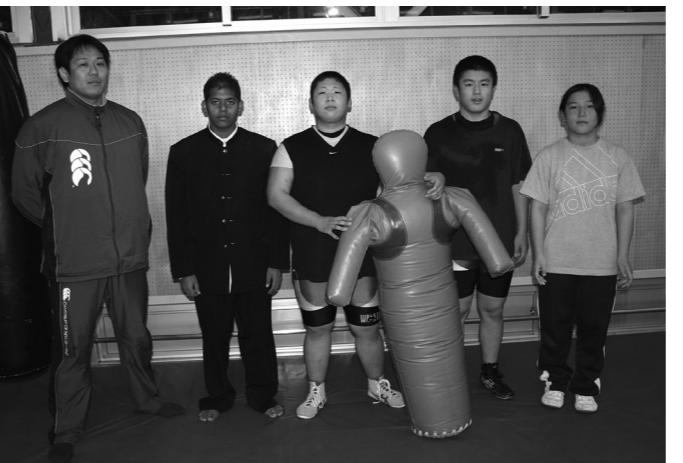


兄弟対決は突然に！

長島正彦・和幸、国体で史上初の兄弟対決

10月5～8日、秋田県五城目体育館において「第62回国民体育大会」が行われた。成年の部で長島正彦（おおたスポーツ学校事務局）と全日本王者・長島和幸（福島県・株クリナップ）の国体史上初の兄弟対決が実現。準決勝ながらテレビでも放映されるほど注目を集めた試合だった。正彦が2Pを獲るも僅差で敗れたが第3位入賞。少年では富塚拓也が本県からはその長島兄弟以来となる3冠を達成したほか、次の好成績で群馬県が総合第5位になる躍進振りを見せた。

【成年フリー】 ◇74kg級 ③長島正彦
 ◇120kg級 ②米山祥嗣 (k-POWERS)
【成年グレコ】 ◇60kg級 ①松本隆太郎 (日体大4年)
【少年グレコ】 ◇66kg級 ①富塚拓也 (関学大附高3年)
 ◇84kg級 ②田村悠佑 (館高3年)



クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

—第12回— 大泉高校

恩師高田裕司先生の母校
インハイ団体出場が夢！

昭和43年、現監督の長井保幸さんは生まれた年、大泉高校レスリング部が誕生しました。初代主将は日野重夫さん。日野さんが3年生の時、その不世出の大レスラー高田裕司さんが当時監督の野村圭二先生に誘われ入部。日野主将が手ほどきをしました。しかし、あまりの練習の苦しさに部員全員による大量離脱事件発生。日野主将が土下座をしてこれを引き止めましたが、このことはマング「ぐんまのスポーツ人物伝」にも描かれているほど有名なエピソードです。日野さんの土下座がなければ、高田先生も今のレスリング部もなかつたでしょう。

さて、時代が流れ、今は高田先生の館高時代の教え子・長井保幸さんが3年前監督に就任。就任1年目にして8人の部員が入りました。これも長井監督の人徳のなせる業でしょう。大泉高校の目標はインターハイ団体戦出場。過去一度だけあるそうです。個人戦では現主将で今年の全日本ビー・レスリング王者・木村龍巳選手が来年最有力で、個人戦でも実に久しぶりになります。

「レスリングを長く続けて将来に生かしてほしい」。恩師・高田先生が育った道場で、選手を見つめながら長井監督が語っていました。

SCHEDULE

■天皇杯全日本 レスリング選手権大会

12月22日(土)・23日(日)
代々木体育館

■館林市スポーツ少年団 クラブ交流大会

1月14日(月)
館林市城沼総合体育館

■関東高校選抜 レスリング大会

2月2日(土)・3日(日)
千葉県佐倉市体育館

■関東甲信越 少年レスリング大会

2月24日(日)
館林市城沼総合体育館

思い出の一葉

□この写真は、私（中央）が館林高校2年の春の全国選抜での一枚です。

